

ユーシン

景況レポート

Number.121
(2024.7~9月期)

結城信用金庫

■このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業227企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果の
あらまし



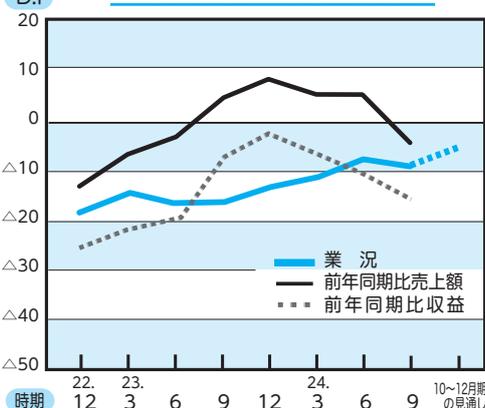
概況(7月▶9月期)

業況は、小売業・サービス業で改善

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.Iは△9.3と、2024年4月~6月期(前期)の調査より△1.4ポイント低下し、景況感はずかしく悪下しました。業種別では、製造業で前期比△0.2ポイント、卸売業で同比△0.5ポイント、建設業で同比△13.8ポイント、不動産業で△5.5ポイント低下しましたが、小売業で前期比+7.5ポイント、サービス業で同比+0.2ポイントの改善となりました。項目別では、売上額判断D.Iが△8.4と前期比△6.2ポイント、収益判断D.Iは△17.2と同比△8.4ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△3.9で前期比△8.7ポイント、同収益判断D.Iが△14.6で同比△4.5ポイントと、ともに低下しました。雇用面では、人手過不足判断D.Iが△18.5で前期比+4.3ポイントの改善となり、人手不足感はやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△3.1となり、前期と比べて低下しました。借入金の動きでは、「借入した」が前期比△0.4ポイントの低下となりました。借入難易度については容易と回答した事業者がやや減少し、前期比△0.9ポイントとなりました。経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が32.2%、「同業者間の競争激化」が29.5%、「原材料高」が27.8%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応」について、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用しているかの質問に対し、利用しているが自社ホームページは未開設という事業者が39.7%と最も多い結果となりました。

全業種総合 主要指標の推移



◎業況判断D.I=「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標 ◎特別調査の詳細は8~9ページに掲載しています

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

業況の見通し判断D.Iは△5.3、当期実績比+4.0ポイント改善の見込

来期は、製造業、卸売業、建設業で改善を見込んでいます。項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+7.9ポイント、収益判断D.Iが同比+8.3ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△5.3ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+0.5ポイント、残業時間判断D.Iについては同比+0.8ポイントと、ともに改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.4%、「販路を広げる」が34.4%、「人材を確保する」が27.8%と上位に挙げられました。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました)

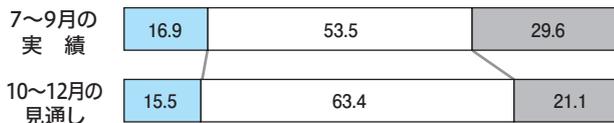
業種名	時期	6年4月~6月	6年7月~9月	6年10月~12月 見通し	概要	要点
総合					業況判断D.Iは、△1.4ポイント低下し△9.3。来期は、4.0ポイント改善し△5.3の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、△0.2ポイント低下し△12.7。来期は、7.1ポイント改善し△5.6の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、△0.5ポイント低下し△16.1。来期は、9.7ポイント改善し△6.4の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、7.5ポイント改善し△15.0。来期は、横ばいの△15.0の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、0.2ポイント改善し△6.5。来期は、横ばいの△6.5の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、△13.8ポイント低下し5.6。来期は、5.5ポイント改善し11.1の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、△5.5ポイント低下し△5.5。来期は、△5.6ポイント低下し△11.1の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

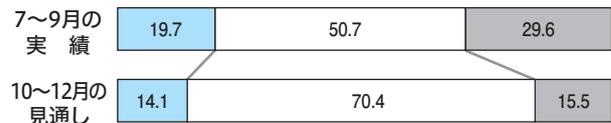
■ 製造業

回答企業数71企業(回答率98.6%)

【業況】



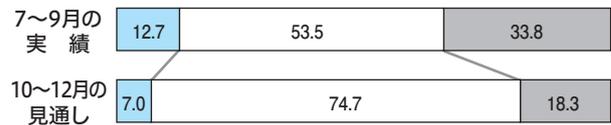
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△12.7、前期比△0.2ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△9.9と前期比△11.3ポイント、収益判断D.Iが△21.1と同比△12.8ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△9.9で前期比△9.9ポイント、同収益判断D.Iが△23.9、同比△8.6ポイントと、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△14.1と前期比+10.9ポイントの改善となり、人手不足感は緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△7.1、前期比△5.7ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が14.1%（前期8.3%）、「予定あり」が11.3%（同8.3%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は8.5%（前期11.1%）となりました。

経営上の問題点では、「原材料高」が42.3%、「売上の停滞・減少」が35.2%、「同業者間の競争激化」が29.6%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

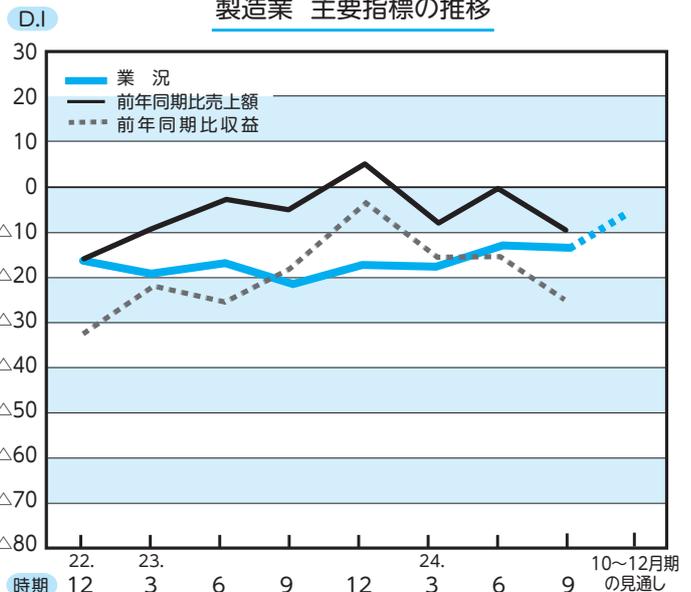
業況の見通し判断D.Iは△5.6、当期実績比+7.1ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+8.5ポイント、収益判断D.Iが同比+9.8ポイントとなり、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△7.0ポイントと、低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比△2.8ポイントと低下の見通しですが、残業時間判断D.Iは同比+2.9ポイントで改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が69.0%、「販路を広げる」が46.5%、「人材を確保する」が35.2%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



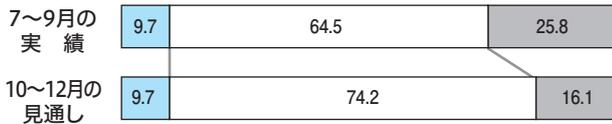
調査員のコメントから

- 人手不足のため外注費は増加傾向にあるも、売上高は堅調に推移している。
- 為替レートの変動により収益力が大きく変化する傾向にある。

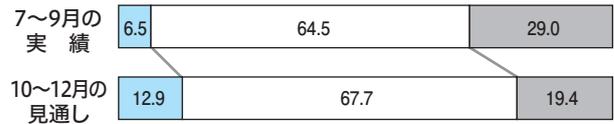
■ 卸 売 業

回答企業数31企業(回答率93.9%)

【業 況】



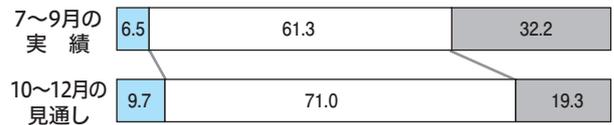
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△16.1、前期比△0.5ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△22.5で前期比△3.7ポイント、収益判断D.Iが△25.7ポイントで同比△3.8ポイントと、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△9.6で前期比△0.2ポイント、同収益判断D.Iが△3.8で同比△3.8ポイントと、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.1で前期比△3.6ポイントの低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは△3.2で前期比△0.1ポイントの低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.1%（前期18.8%）、「予定あり」が9.7%（同9.4%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は3.2%（前期3.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が38.7%、「仕入先からの値上り要請」が35.5%、「同業者間の競争激化」が25.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

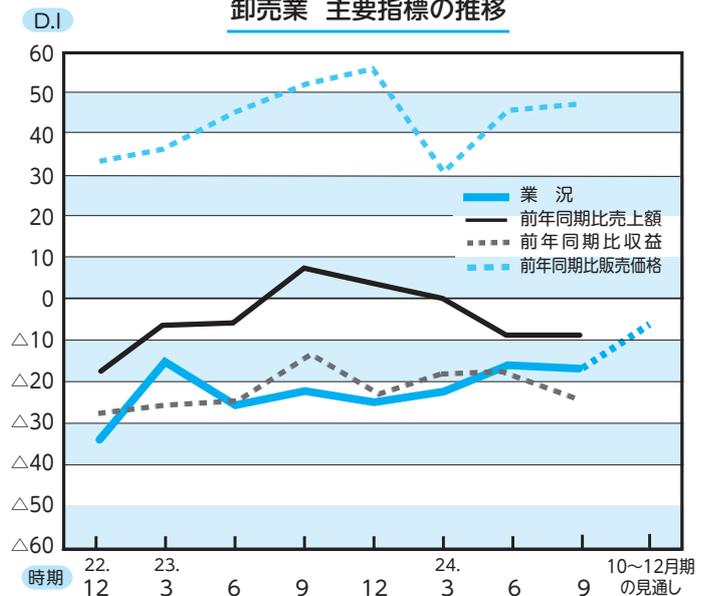
業況の見通し判断D.Iは△6.4、当期実績比+9.7ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+16.0ポイント、収益判断D.Iが同比+16.1ポイントと、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△6.4ポイントと、低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通しですが、残業時間判断D.Iは同比+3.2ポイントで改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が67.7%、「販路を広げる」が51.6%、「人材を確保する」が19.4%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



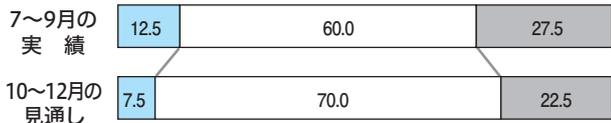
調査員のコメントから

- 青果物卸売。天候不順による作物への影響、材料・資材等の高騰もあり収益性は低下傾向にある。

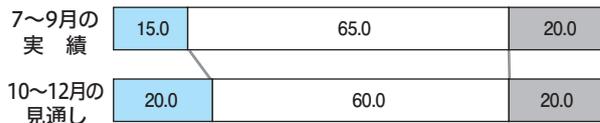
■ 小 売 業

回答企業数40企業(回答率97.6%)

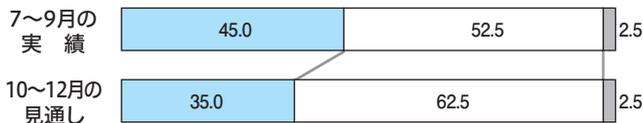
【業 況】



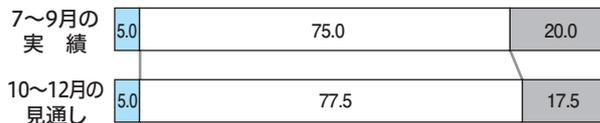
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△15.0、前期比+7.5%の改善



項目別では、売上額判断D.Iが△5.0と前期比+10.0%、収益判断D.Iが△15.0と同比+5.0%となり、ともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△17.5となり前期比△20.0%、同収益判断D.Iが△17.5で同比△7.5%となり、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.5と前期比+7.5%の改善となり、人手不足感が緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは0.0と前期比横ばいとなりました。

借入金の動きでは、「借入した」が10.0% (前期15.0%)、「予定あり」が7.5% (同10.0%) を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は5.0% (前期5.0%) となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が45.0%、「同業者間の競争激化」が27.5%、「人手不足」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

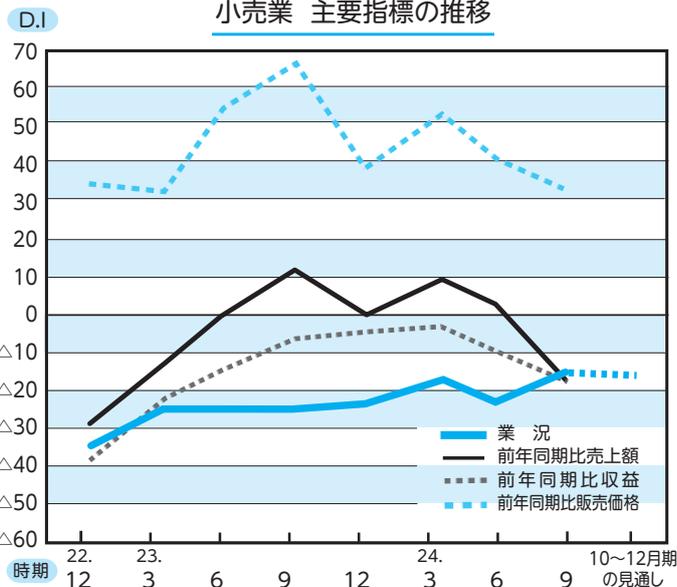
業況の見通し判断D.Iは△15.0、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+5.0%、収益判断D.Iが同比+2.5%と、ともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比△10.0%の低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+5.0%改善の見通しですが、残業時間判断D.Iは同比△7.5%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が65.0%、「品揃えを改善する」が27.5%、「宣伝・広告の強化」が22.5%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



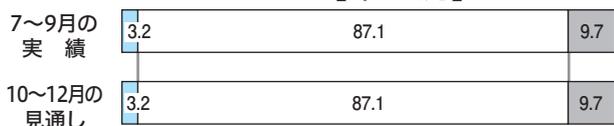
調査員のコメントから

- 家電販売・工事業。猛暑の影響もあり、エアコン設置・修理の依頼が増加。売上高増加の見通しも、残業時間も増加し費用増が避けられない状況。

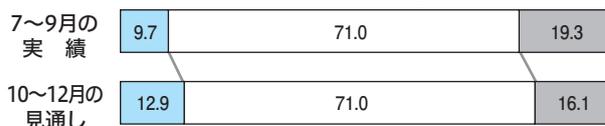
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

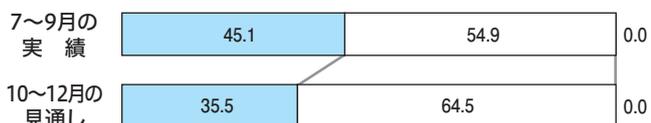
【業況】



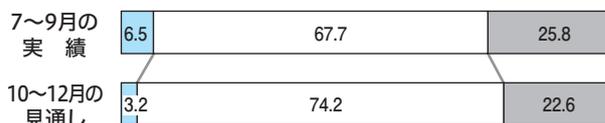
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△6.5、前期比+0.2%の改善

項目別では、売上額判断D.Iが△9.6と前期比△22.9%、収益判断D.Iが△19.3と同比△22.6%と、ともに低下しました。

また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0となり前期比△26.7%、同収益判断D.Iが△16.1で同比△19.4%となり、ともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.6と前期比△2.6%の低下となり、人手不足感が強まりました。また、前期比残業時間D.Iは0.1と前期比+0.1%とわずかに改善しました。

借入金の動きでは、「借入した」が19.4%(前期16.7%)、「予定あり」が6.5%(同10.0%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は0.0%(前期10.0%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が41.9%、「材料価格の上昇」が38.7%、「人手不足」が25.8%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

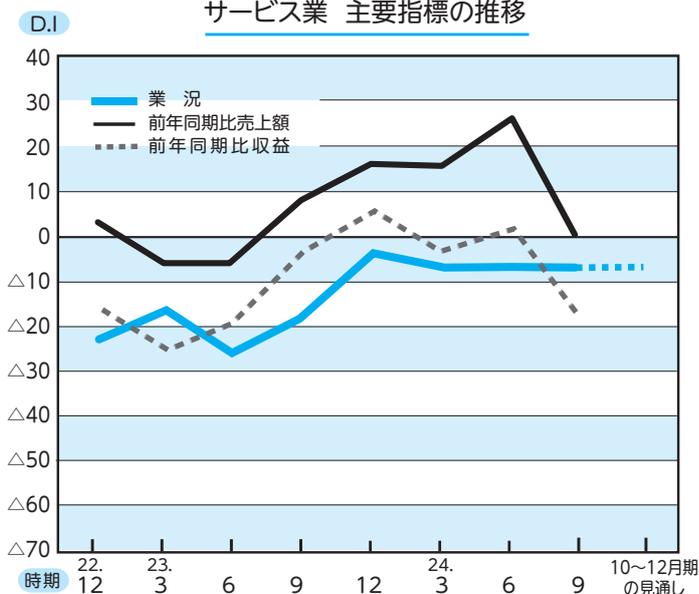
業況の見通し判断D.Iは△6.5、当期実績比横ばいの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+6.4%改善の見通しですが、収益判断D.Iが同比△0.1%の低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△9.6%の低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比+3.2%改善の見通しですが、残業時間判断D.Iは同比△3.3%低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が45.2%、「販路を広げる」が41.9%、「教育訓練を強化する」が19.4%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



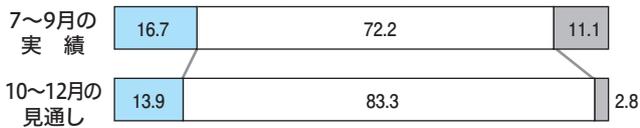
調査員のコメントから

- 自動車販売整備業。自動車の修理依頼が増加傾向にあり、人手不足と感ずることが増えたため、若年層の人材を探している。

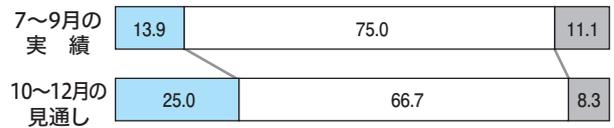
■ 建設業

回答企業36企業(回答率100%)

【業況】



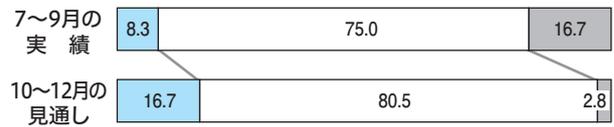
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図



概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは5.6、前期比△13.8%の低下

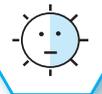
項目別では、売上額判断D.Iが2.8と前期比△5.5%、受注残判断D.Iは0.0と同比△2.8%と、ともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが22.1で前期比+5.4%、同収益判断D.Iが11.2で同比+16.8%となり、ともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△22.2と前期比横ばい、前期比残業時間D.Iは5.6と前期比+11.2%の改善となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.7%(前期22.2%)、「予定あり」が13.9%(同19.4%)を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は13.9%(前期13.9%)となりました。

経営上の問題点では、「材料価格の上昇」が58.3%、「人手不足」が30.6%、「売上の停滞・減少」が25.0%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報



見通し(10月▶12月期)

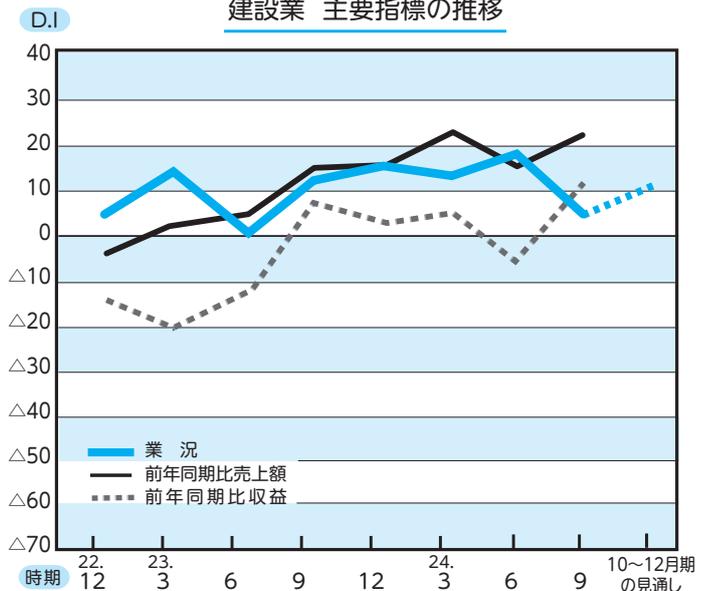
業況の見通し判断D.Iは11.1、当期実績比+5.5%改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比+13.9%、収益判断D.Iが同比+22.3%と、ともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比△8.4%低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通しですが、残業時間判断D.Iが同比+2.7%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が72.2%、「人材を確保する」が50.0%、「販路を広げる」が27.8%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



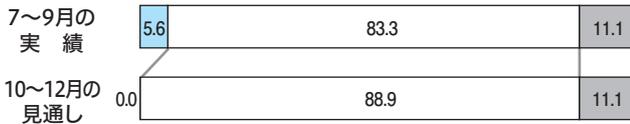
調査員のコメントから

- 従業員確保に向けた施策としてホームページを作成した。従業員は随時採用しているが、退職者は出ていない。

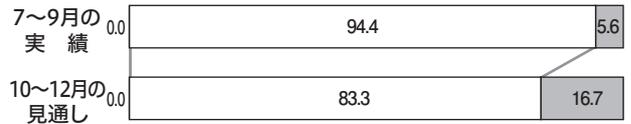
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

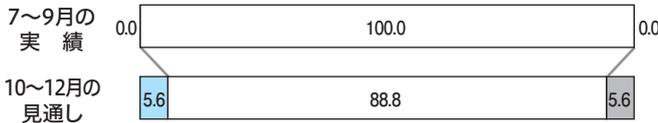
【業況】



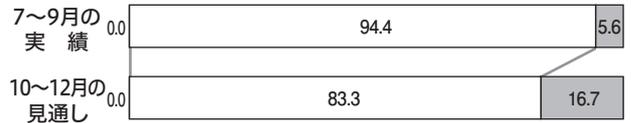
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

景況天気図

概況(7月▶9月期)

業況判断D.Iは△5.5、前期比△5.5%の低下

項目別では、売上額判断D.Iが△5.6、収益判断D.Iが△5.6となり、ともに前期比横ばいとなっております。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0となり前期比+5.6%、同収益判断D.Iは△5.5で前期比+0.1%と、ともに改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△16.7と前期比+5.5%改善し、人手不足感がやや緩和されました。また、前期比残業時間D.Iは△16.7で前期比△16.7%の低下となりました。

借入金の動きでは、「借入した」が11.1% (前期16.7%)、「予定あり」が11.1% (同11.1%) を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が33.3%、「商品物件の不足」が27.8%、「人手不足」「商品物件の高騰」「代金回収の悪化」が16.7%と上位に挙げられました。

3ヶ月予報

見通し(10月▶12月期)

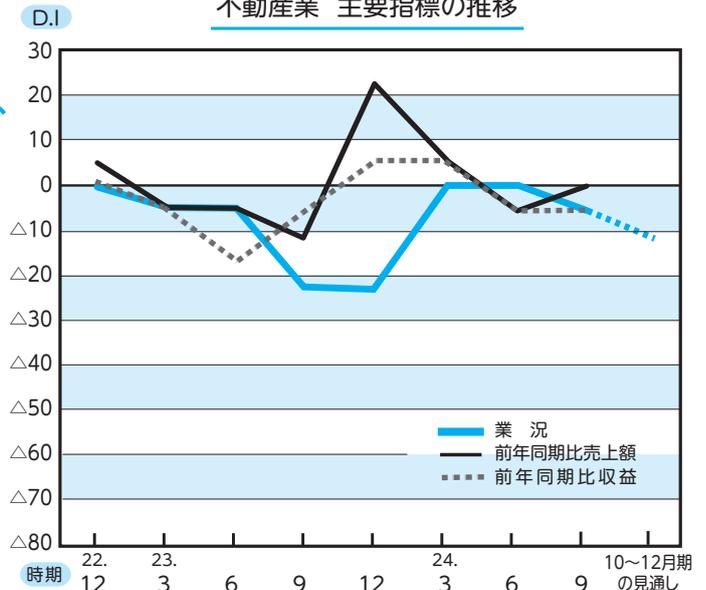
業況の見通し判断D.Iは△11.1、当期実績比△5.6%低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△11.1%、収益判断D.Iが同比△11.1%と、ともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比+0.1%の改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横ばいの見通しですが、残業時間判断D.Iが同比+11.1%改善の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が55.6%、「宣伝・広告の強化」が50.0%、「販路を広げる」が33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

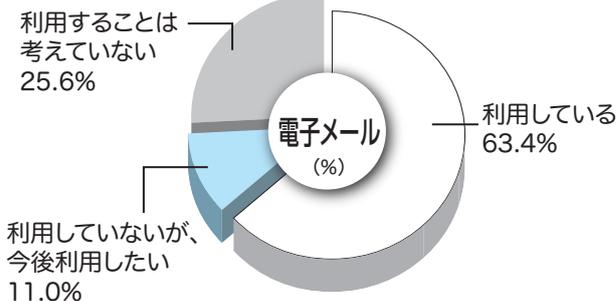
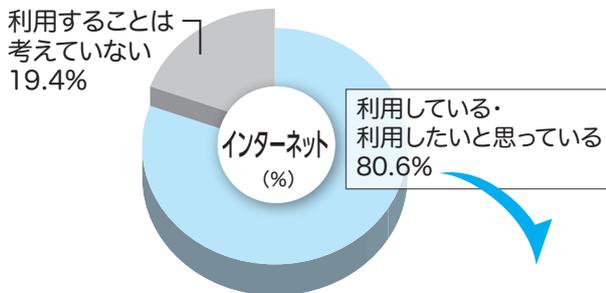
- 地価等に大きな変動はなく、今後も堅調に推移する見通し。業種柄、口座振替以外のキャッシュレス手段は使用しないとの事。

特別調査

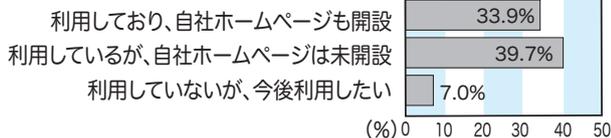
中小企業における「デジタル化」と「キャッシュレスへの対応」について

問1

貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。



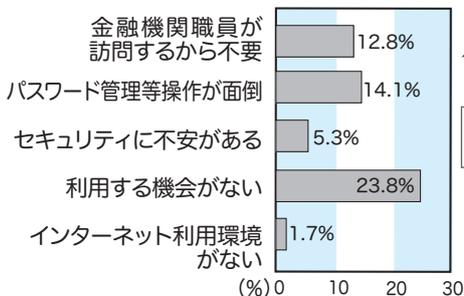
【インターネットの利用の状況】



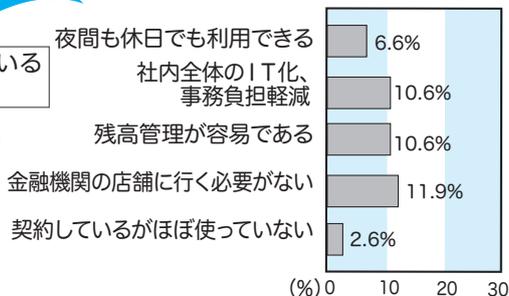
問2

貴社では、インターネットバンキングを契約していますか。契約している方は、契約している主な理由または状況をお答えください。契約していない方は、契約していない主な理由をお答えください。

【契約していない理由】



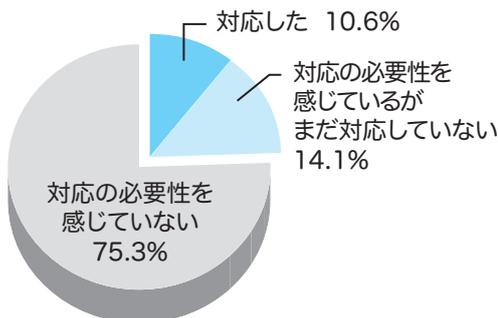
【契約している理由】



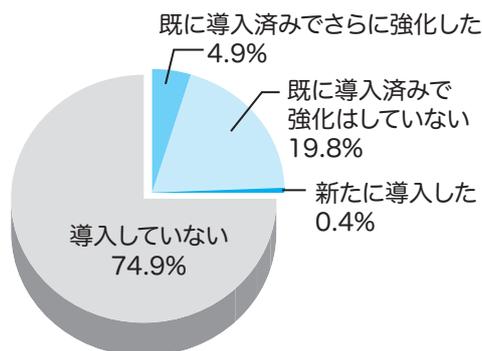
問3

7月に実施された新紙幣の発行に伴い、貴社では何らかの対応（設備投資など）を実施しましたか。また、新紙幣導入を機にキャッシュレス支払手段の導入または強化をしましたか。

新紙幣に伴う対応



キャッシュレス支払手段

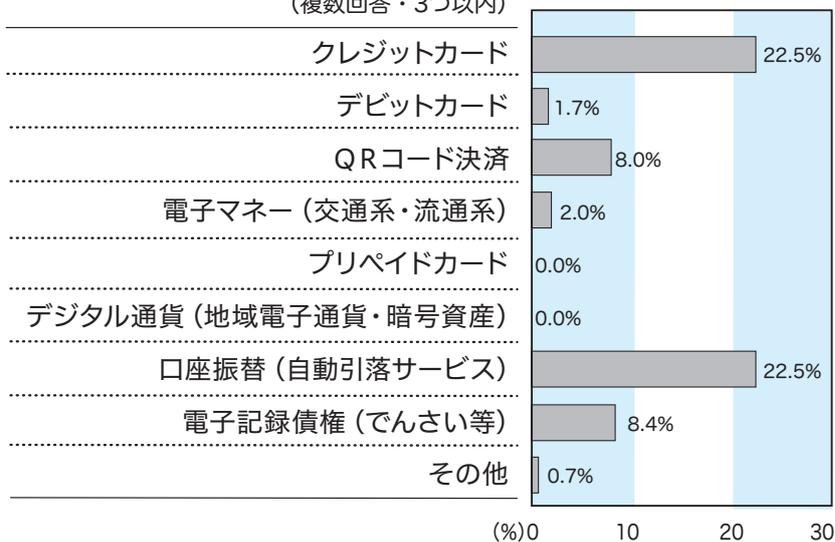
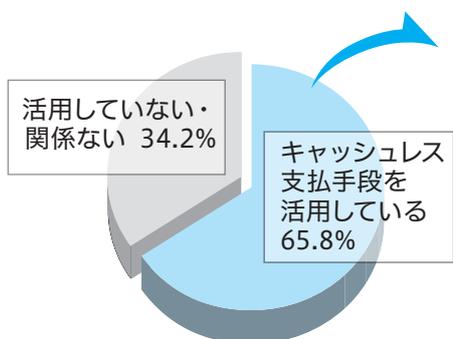


問4

貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。また、主に活用しているキャッシュレス支払手段をお答えください。

活用しているキャッシュレス支払手段

(複数回答・3つ以内)

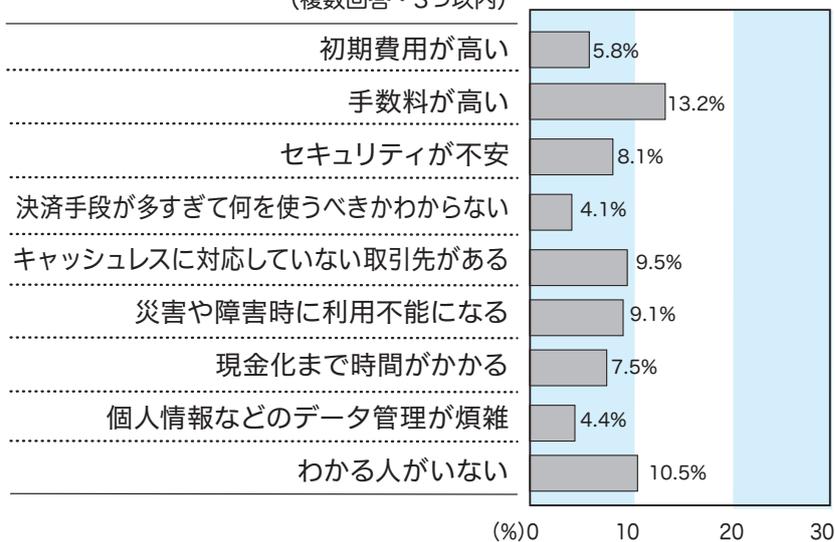
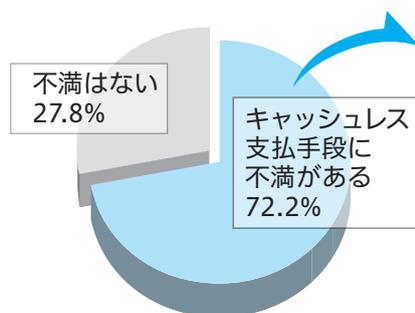


問5

問4のキャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不満を、導入していない方は導入していない理由をお答えください。

キャッシュレスの不満と導入しない理由

(複数回答・3つ以内)



提携事業所にお勤めのみなさまへ

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



職域サポート契約制度

職域サポート契約制度とは？

当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方

（右記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から

年1.50% 引き下げます。

※ただし、他の金利引き下げ適用との重複はできません。

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

一般個人ローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

ブライダルローン

ご融資金額 500万円以内

ご利用期間 10年以内

カーライフプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

教育プラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 16年以内

子育て応援プラン

ご融資金額 100万円以内

ご利用期間 10年以内

リフォームプラン

ご融資金額 1,000万円以内

ご利用期間 15年以内

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。

※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。

また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。

2026年版カレンダー「ユーシンのある街」写真コンテスト

結城信用金庫の店舗がある街で未来に残しておきたい風景・街並み・祭りなどをテーマに写真コンテストを開催中！

応募作品の中から優秀作品を選定し、2026年のカレンダーに採用します。

※応募要領につきましては当金庫ホームページをご覧ください。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。

皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296) 32-2110 FAX (0296) 33-0414
<http://www.shinkin.co.jp/yuki/>